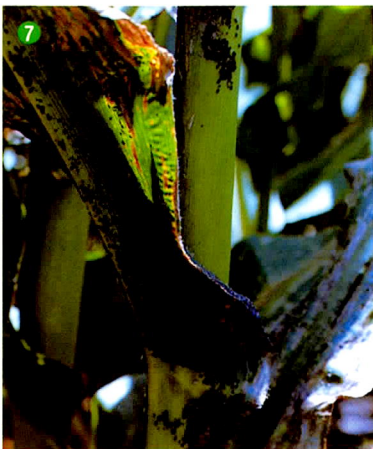
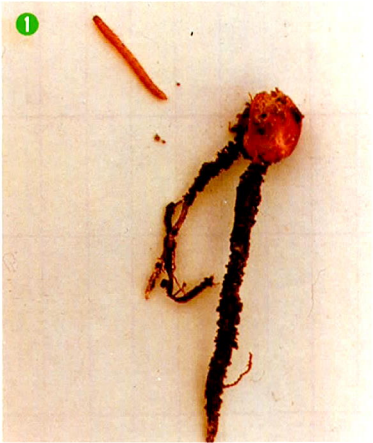


# F<sub>1</sub> トウモロコシの虫害



## 写真説明

- ① ハリガネムシ、種子が食害され出芽できない状況
- ② アワヨトウによる食害状況
- ③ イネヨトウの成虫
- ④ アワノメイガ1化期の食害状況(葉部食害が主体)
- ⑤ アワノメイガ2化期の食害状況(雌穂、稈の食害が主体)
- ⑥ アワイメイガ成虫
- ⑦ アブラムシとその加害状況

## トウモロコシの主要害虫の発生生態と対策

害虫名	発生生態	対策
ハリガネムシ (コメツキムシ幼虫の総称)	体色は黄褐色ないし暗褐色で光沢を有する。地中に住み、トウモロコシの種子や幼植物の茎の基部に喰い込み、不発芽や幼植物の萎凋・枯死をひきおこす。	ハリガネムシに強い作物との輪作。 ダイアジノン、VC等の土壌混和
アワヨトウ	暖地では常発的、関東以北では突発的な発生が多い。成虫は長距離飛翔移動を行ない、繁殖能力も高く、雑草が多発を誘発しやすい傾向がある。	除草の徹底 ディブトレックス粉剤又は乳剤
イネヨトウ (別名ダイメイチュウ)	茎に潜入して髄部を食害する、アワノメイガと類似するが一般にやや大きく背面が淡紅色を帯びている。加害部位が低いので倒伏被害が多い。	除草(ネ科雑草)の徹底 NAC粒剤、粉剤の土壌混和メソシル粒剤等のトップドレッシング
アワノメイガ	幼虫の若齢の間は葉鞘や頂部の未展開葉を食害する。被害が生じるのは主に収穫以後となり、雌穂、雄穂を食害し、穂首が折れたり稈の折損をひきおこす。	ディブトレックス乳剤 NAC粒剤、散布時期は収穫期前後が良い。